

委員会レポート

常任委員会

総務厚生

統合保育園の開設は25年4月

9月12日に本委員会を開催し、請願審査2件と所管事務調査を行いました。

原子力発電所の廃止を求める意見書提出方請願と地方財政の充実・強化を求める請願は、全会一致で採択しました。

① 荒砥高校をサポートする会の状況など

② 土地(宅地)の評価額

③ 国民健康保険広域化等支援方針

④ 子育て支援拠点施設整備事業

⑤ 放射線量の調査についてなどに関し各担当課から説明を受けました。

①では、荒砥高校来年度の新生入生にホームヘルパー2級の資格取得ができるような支援をしていきたいとの説明がありました。

委員から、どのようにして運動を盛り上げるかの問いに、入学者の確保が大事であり、10月からの進路指導で保護者・生徒にシステムや町の支援を説明していきたいとの答弁がありました。

た。

②について、委員から評価替えにより鮎貝土地区画整理地内への価格に影響するかの問いに、土地の評価の推移を見ながら対応しているとの答弁がありました。

④では、スケジュールを早め、25年4月開設の方向ですすめていきたいとの説明がありました。

⑤については委員全員で、荒砥小学校のグラウンドで放射線量の測定を行いました。結果は0.08マイクロシーベルトで問題のない数値でした。



放射線量測定(荒砥小学校グラウンド)

産建文教

直営廃止により町民サービスの確保は

9月14日に本委員会を開催し、請願審査1件と所管事務調査を行いました。

町道佐野線の道路整備についての請願は、全会一致で採択されました。

① 荒砥橋架け替えの進捗状況

② 除雪計画

③(財)白鷹町アルカディア財団の経営改善計画について

などに関し各担当課から説明を受けました。

①では、県は現橋よりやや下流のルートを最適案としてすすめていく意向との説明がありました。

②について、委員から、直営廃止により町民サービスを低下させないということとを確保できるのかとの問いに、除雪の管理は町が責任を担っていかねばならないし、地元の実状を熟知している民間業者もメンテナンスも含めたノウハウを確保していかなければならないとの答弁がありました。

また、直営代替業者の選定と、業者が社減少したことも含めて路線配置を行うとの説明がありました。

③について、委員から、公認会計士から出された経営改善計画書のなかに「経営者が誰か」と書かれてあるが当局はどのような認識を持っていくかとの問いに、財団は受託者として一生懸命経営にあたってほしいと書いてあり、受託者としての財団の責任が示されているものとの答弁がありました。

請願が出された町道佐野線の現地調査をしました。



現地調査(町道佐野線)